

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年3月31日

施設名	港区立北青山高齢者在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区北青山1-6-1	指定管理者	社会福祉法人 東京聖労院

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>法人が、当事業所の指定管理者として運営を始めたのは2022年度からである。稼働率30%でスタートし、年間目標は40%以上で設定した。しかしながら、(1)スタート時点で必要な職員数を全て確保することができなかったこと、(2)施設の大規模改修が始まり、フロアの約半分が使えないこと、(3)秋に新型コロナウイルス感染症患者が事業所内で発生し、利用控えが起きたこと、等の理由により年間目標を達成することはできなかった。しかしながら、新たな取組みも検討中とのことなので、次年度中の稼働率達成が期待される。</p>		<p>取組①⇒令和4年度稼働率目標50%/1日平均5名に対して、稼働率28%/1日平均2.8名という実績となった。令和4年3月の引継ぎ時の稼働率35%から、0.7%下がっている。 1日平均0.7名×308営業日で考えると、年間215.6名(延べ)の受け入れができなかったという結果となった。 一般デイの利用者のうち、認知デイを利用した方がより良い環境を提供できる利用者に対し、個別に声かけしていくことが重要となる。しかし、事業スタート1年目は、利用者と利用者家族の状況を把握することに時間を要したことから、その取組が十分ではなかった。 また、認知デイのプログラムについても、目新しい内容を導入することができなかった。</p>	<p>取組①⇒音楽ボランティアや生け花ボランティア、傾聴ボランティアなどと積極的に連携していく。 取組②⇒年間4回の予定で、認知症ケアに特化した職員研修を実施する。外部講師(社事大の下垣先生)を招き、まず弊事業所の認知症ケアの土台を醸成する。 取組③⇒音楽療法プログラムの導入を検討する。</p>	<p>ボランティアとの積極的な連携や認知症ケアに特化した職員研修の実施、音楽療法プログラムの導入など、さまざまな取組を駆使し、今年度中に稼働率の目標を達成できるよう施設と連携を図っていく。</p>
<p>事業所では、法人の広報誌や区の情報誌、施設のパンフレット等により、利用希望者に対する情報提供に努めている。また、新たにホームページを開設し、ブログ等の更新によって、以前にも増して情報発信に力を注いでいる。ホームページでは、利用の流れや、料金、施設の設備、リハビリ、食事、活動内容等について、写真を添えながら分かりやすく情報が掲載され、今後の継続が期待される。一方で、事業所のパンフレットについては、イラストはあるものの、具体的にイメージしやすい写真等が無いため、さらなる改善がなされることが望まれる。</p>		<p>デイサービスの案内パンフレットを作成していたものの、内容としては、「利用の流れ」や「1日のサービス」、「料金」などの記載に留まっていた。 分かりやすいイラストや写真を掲載できるよう、検討を開始した。</p>	<p>4月にイラストや写真、MAPなどの準備を完了させ、5月には、新たなパンフレットの配布を開始する。 また、行事やイベントなどの情報は、定期的に更新し、常に最新の内容を維持しつつ、適度に写真を掲載するなど、より分かりやすいパンフレットとなるよう取組を継続していく。</p>	<p>ホームページに加え、パンフレットについても活動内容が容易に分かる写真を掲載するなど、利用者やその家族に対し、より丁寧に最新情報を提供できるよう指導していく。</p>
<p>食事の献立表は毎月家族へ配付されている。利用者が毎日食べている食事の内容を知るとともに、利用者と会話のきっかけにもなっている。毎月の郷土料理、コンセプトを決めたおやつバイキングなど、利用者は美味しい食事を楽しみにしている。食事は委託業者に委託されているが、さらに利用者の嗜好を反映したり、質の向上を図っていくために、事業所との意見交換の場を設定していくことが望まれる。調理員に美味しかったなど伝えているが、利用者本位の食事提供のため、事業所と委託業者の連携をさらに推進していくことに期待したい。</p>		<p>令和4年度は、委託事業者と毎日、提供食数や検食を通じた食事形態などのコミュニケーションを行った。しかしながら、利用者の意見を直接、委託事業者へ届ける仕組みがなかったことから、その仕組みづくりについて検討を開始した。</p>	<p>令和5年4月から、毎日の検食と提供数の確認時に、担当職員から委託事業者の調理担当へ、利用者の感想や意見などを届けるよう改善する。</p>	<p>食事の質向上のために、事業所との意見交換の場を設けるなど、委託事業者と連携を図っていく。</p>